

# 第40回 全国 JOC ジュニアオリンピックカップ春季水泳競技大会・監督者会議

大会規模・参加クラブ数 877 参加人数・男子 1,908 名・女子 1,584 名 計 3,492 名

## 1. 競技について

- (1) 本競技会は、2017 年度(公財)日本水泳連盟競泳競技規則にのっとり実施する。
- (2) 競技は、予選・B決勝・決勝ともに 8 レーンで行い、タイムスケジュールどおりに行う。
- (3) 女子 800m 自由形・男子 1500m 自由形は、予選と B 決勝・決勝を行う。それ以外の種目は、予選と決勝を行う。
- (4) B 決勝は、予選申込者 25 名以上の種目に限って行う。
- (5) 決勝・B 決勝進出は予選の結果、上位 8 名が決勝に、9 位から 16 位の選手が B 決勝に出場できる。棄権者が出たときは、次点上位者より順次出場権を与える。補欠は 2 名とする。
- (6) 決勝進出について、同記録で予定人数を超えた場合は、スイムオフを行う。ただし自由形 800m・1500m は抽選によって優先順位を決定する。補欠が同記録で複数いる場合、優先順位も同様に抽選を行う。
- (7) 招集は競技開始 20 分前から行う。招集の際に水着の確認を行う。
- (8) 予選を棄権する場合は、所定の届出用紙に記入し、当日 9:10 までにリゾリューション(Resolution)に届け出ること。時間内に届け出をしなかった場合は棄権料 3,000 円(リレー 5,000 円)を徴収する。決勝・B 決勝を棄権することは出来ない。やむなく棄権する場合は、その予選競技終了後 1 時間以内に棄権料 3,000 円を添えて届け出ること。予選、決勝、B 決勝のいずれも無断で棄権した場合には、棄権料とは別に罰金 3,000 円を徴収する。
- (9) 競技は、女子は A 面、男子は B 面で行う。下記の競技は A 面と B 面を入れ替えて行う。  
招集は変更された招集所で行う。

・ 1 日目 No. 26. 男子 15-16 歳	400m 自由形	予選	(A 面)
・ 1 日目 No. 28. 男子 C S	400m 自由形	予選 2・4 組	(A 面)
・ 2 日目 No.102. 男子 C S	1500m 自由形	予選 3・5 組	(A 面)
・ 3 日目 No.140. 男子 13-14 歳	400m フリーリレー	予選 1・2・4 組	(A 面)
・ 3 日目 No.142. 男子 C S	400m フリーリレー	予選 1・3・5 組	(A 面)
・ 3 日目 No.144. 男子 C S	1500m 自由形	決勝	(A 面)
・ 3 日目 No.145. 女子 C S	800m 自由形	B 決勝	(B 面)
・ 4 日目 No.220. 男子 C S	400m メドレーリレー	予選 1・3・5 組	(A 面)
- (10) リレーオーダーは、予選は 9:30 までに、決勝は該当予選競技ランキング発表後 30 分以内にリゾリューションに提出すること。
- (11) リレーの引き継ぎ判定は、PT8000 により行う。
- (12) 予選競技のスタートは、オーバー・ザ・トップ方式で行う。次組のスタート完了まで水中で待機し、スタート終了後、速やかに自レーンより退水する。ただしフリーリレー、メドレーリレー、背泳ぎおよび各種目の最終組については、速やかに自レーンより退水すること。
- (13) バックプレート、バックストロークレッジ付のスタート台を使用する。調整は各自行い、確実に固定されていることを確かめること。
- (14) 800m・1500m 自由形では A 面は水中ラップカウンター、B 面は周回板を使用する。  
周回板は、折り返し側の台中央に提示し、コールは行わない。
- (15) 公式計時セイコーによる計時バックアップは A 面水中バックアップシステム、B 面は半自動装置を使用する。
- (16) ゴールタッチはタッチ板の有効面に確実にタッチすること。
- (17) 予選は組のみの紹介、決勝・B 決勝は選手紹介を行う。C S の決勝はゲート紹介入場とする。
- (18) 本大会は上訴審判団を設置する。

## 2. 表彰・得点・記録証について

- (1) 1 位～3 位にメダルならびに賞状、4 位から 8 位に賞状を授与する。
- (2) 表彰は、12 歳以下は 8 位まで、13 歳以上は 3 位まで行う。
- (3) 13 歳以上の 4 位から 8 位までの賞状は、1 階レストラン側入口受付の賞状受け渡し所で授与する。
- (4) 決勝種目終了後、女子・男子の順で表彰を行うので入賞者は所定の位置で待機すること。
- (5) 12 歳以下の団体、優秀選手、優秀コーチの表彰は、2 日目 12 歳以下の全競技終了後に行う。その他の表彰は最終日の閉会式で行う。
- (6) 優勝した選手は個人表彰の対象となるので表彰日まで残ること。表彰式に残れない選手は必ずリゾリューションに申し出ること。
- (7) 団体総合表彰は 8 位までを表彰する。
- (8) クラブ対抗の得点、C S における 16 歳以下の入賞者に対する加算点は要項による。
- (9) 記録証は、日本水泳連盟ホームページより記録証印刷システムを使用し、各クラブで作成すること。

### 3. 全体スケジュール

期 日	開門時間	予選開始	決勝開始	終了予定	閉門時間
1日目 3月27日(火)	7:15	9:45	15:10	17:30	18:00
2日目 3月28日(水)	7:15	9:30	13:30	16:50	18:50
3日目 3月29日(木)	7:15	9:30	14:50	18:10	18:30
4日目 3月30日(金)	7:15	9:30	13:45	16:00	18:15

- \* 27日(火) 開会式9:30～ \* 開始式14:50～
- \* 28日(水) 12歳以下表彰式15:25分～ \* 800m/1500m予選15:40～
- \* 30日(金) 閉会式16:10～

### 4. プール使用について

#### (1) メインプール

- ① 水温は28.0度、水深は2.0mに設定する。
- ② 練習は競技開始15分前までとする。(予選競技前のA面は9:00まで、B面は9:15までとする)
- ③ A面は1・2レーン、B面は7・8レーンをダッシュレーンとする。レーンの増設については、通告および電光表示板で連絡を行う。なおA面1レーン、B面8レーンにバックストロークレッジを設置する。
- ④ 昼休みの練習は決勝・B決勝出場者のみとする。
- ⑤ ダッシュレーンの代理人による順番待ちは禁止する。
- ⑥ 公式スタート練習は8:30～9:15(A面は9:00まで)の間に行う。
- ⑦ パドルおよびコード類の使用を禁止する。
- ⑧ 2日目全競技終了後、18:00まで練習時間を設定する。

#### (2) サブプール・ダイビングプール

- ① 水深1.2m～1.4m。
- ② 水温28.5度に設定する。
- ③ サブプール1～3レーンを女子専用、5～7レーンを男子専用とし、時間を限定し2・6レーンをペー  
スレーンとして400m以上の専用アップレーンとする。
- ④ 飛び込みは禁止する。4レーン(バックストロークレッジ付きスタート台設置)はコーチの管理下において  
スタート練習ができる。
- ⑤ 競技中はホイッスルの使用を禁止する。
- ⑥ パドルの使用および混雑時のコード類の使用は禁止する。
- ⑦ ダイビングプールの使用は、決勝時のダウンのみ使用できる。

### 5. 水泳場の使用について

- (1) 「競技会場における商業ロゴマーク等についての規定」を厳守すること。
- (2) ダイビングプール側プールサイドにコーチ席を設ける。応援席を使用すること、選手の立ち入りは禁止す  
る。
- (3) 選手、付添監督・コーチエリアには、一般は入ることは出来ない。
- (4) 選手、付添監督・コーチは電光掲示板横とダイビング側階段を使用できる。
- (5) ADカードは、館内にいるときは常時首からさげていること。また入場には必ずADカードを提示  
して係員の指示に従うこと。会場でのADカード発行(再発行を含む)は1,000円を徴収する。  
※ 選手、付添監督・コーチのADカードは、すべて自分で写真を添付(糊付け)すること。
- (6) 更衣室のロッカーは使用できない。更衣のみに使用し控え場所にはしないこと。

### 6. 注意事項、その他

- (1) 公式掲示板を2階エントランスおよび選手更衣室出入口付近に設ける。
- (2) プログラムの訂正およびミスプリントは、当日9:00までに所定の用紙に記入のうえリゾリューションに  
届け出ること。(前日に提出可能な届出は受け付ける)
- (3) 保護者および関係者の撮影許可証(有料)は、参加クラブからの申し込みが必要となる。  
※ 撮影許可証は常時首から掛け確認できるようにすること  
※ 選手、付添監督・コーチのADカードおよびクラブ関係者席のADカードは撮影許可証となる。
- (4) 水着および身体へのテーピングは禁止する。ただし治療目的の場合は審判長の許可を得ること。
- (5) ドーピングコントロール保護者(親権者)の同意書を提出すること。
- (6) 盗難防止の為、貴重品の管理については各クラブの責任において行うこと。
- (7) 忘れ物は一般出入口受付にて保管する。最終日競技終了後、廃棄処分とする。
- (8) 日本記録(高校・中学・学童を含む)の発生が見込める外国籍の選手、または日本国籍を得てから3年以  
内の選手は、監督者会議終了後リゾリューションまで申し出ること。
- (9) インターネット配信は予選、決勝ともに「FRESH!」でLIVE配信を行う。  
(日本水泳連盟ホームページのバナーからダイレクトに接続することができる)
- (10) 競技結果をSEIKO競泳リザルト速報サービス(<http://swim.seiko.co.jp/>)および日本水泳連盟公  
認モバイルサイト「スイムレコードモバイル」(<http://j-swim.jp/>)にて確認することができる。